

防水技術特集

INTERVIEW

防水施工の未来を拓く

日新建工・滝澤護取締役東北支店長に聞く、現場の課題と革新への展望

施設の機能維持や長寿命化に欠かせない防水施工の現場では熟練の職人育成と確保が長年の課題となっている。専門業者として誇りを持って長年、防水施工に携わってきた日新建工の滝澤護取締役東北支店長に現場目線で現状と課題、今後の展望について伺った。

メッセージ

東北地方整備局 営繕部長 小澤 剛

日頃より国土交通行政の推進に当たり多大なるご理解とご協力を賜り、厚く御礼を申し上げます。

東北地方整備局では、防災拠点となる官庁施設の耐震化や老朽化対策などの取り組みを進めているところです。とりわけ老朽化対策につきましては、管内の施設の50%以上が、大規模改修が必要となる建築後30年以上を経過しており、計画的な対策が必要です。これら施設の長寿命化を推進するため、合同庁舎など自ら整備を担当する施設の戦略的な維持・更新を行うとともに、管内の官庁施設を対象とした保全指導を進めています。



品確法と建築法・入契法の一体的改正である「第三次担い手3法」の施行等を踏まえ、担い手確保の取り組みのより一層の推進が必要です。東北地方整備局の営繕工事では、原則すべての工事において発注者指定により週休2日を実施するとともに、技能者の顕彰、実勢価格を反映した予定価格の設定等、公共建築工事の発注者として先導的な役割を果たして参ります。皆さまにおかれましても、担い手確保に向けて、技術者・技能者等の処遇の改善に努めて頂けることを期待します。

防水工事は、施設の機能を維持するために重要な事業です。防水工事業の皆さまにおかれましては、地域の防災拠点を支えるためにも、今後の発注情報などご確認いただき、入札への積極的なご参加と公共建築の長寿命化への取り組みへ一層のご協力をお願い申し上げます。

防水施工において最大の課題は何か。また、それを克服するための工夫や取り組みを教えてください。

滝澤 私が考える防水施工最大の課題は天候です。特に東北地方は天候が変わりやすいので、材料の品質管理や工期の遅延に直結する深刻な問題が生れます。また、建設業界全体で人材不足が叫ばれる中、専門性の高い防水工事においては、熟練の職人育成と確保が急務となります。これらの課題に対し、弊社では綿密な気象情報に基づいた工程管理や、余裕を持たせた工期設定を徹底しています。人手不足に対しては、親会社である日新工業との連携による研修制度の充実、作業の標準化・平準化、そして多様な人材が活躍できる環境整備に取り組んでいるところです。

近年の防止技術の進化や新しい材料の導入によるメリットや課題について教えてください。

滝澤 近年の防水技術の進化や新材料の導入は、省力化という大きなメリットをもたらしているでしょう。ウレタン吹付工法の進化や機械化工法の導入は、複雑な形状への対応や施工時間の短縮、品質の安定化

に貢献しています。新材料の導入は、耐久性の向上や環境負荷の低減に寄与する一方で、職人の新たな技術習得や、初期段階での予期せぬ不具合といった課題も生んでいるようです。そのため、新しい技術や材料の導入には、慎重な検討と検証が不可欠と考えています。

建物の防水補修を行う際に最も注意すべき点、または失敗しやすいポイントはなんですか。

滝澤 私の経験として、建物の防水補修において最も重要なのは、漏水の根本原因を特定することと考えています。表面的な補修だけでは再発を防ぐことは難しく、経験豊富な技術者による「ドレン周辺」「立ち上がり」「シートの重ね合わせ部分」の特定箇所を重点的に調査確認することが必要です。防水劣化の主な原因は、紫外線、熱、雨水といった自然環境による影響が大きいです。10年前ころからは、花粉や黄砂による影響も



▲防水層のひび割れ



▲熱による劣化

多数報告されています。そのほか、地震、経年変化、さらには屋上の使用状況なども劣化を促進する要因となることから、ビルオーナーには早期発見のためにも定期的な目視点検を推奨しています。点検箇所としては、防水層のひび割れ、膨れ、剥れ、変色、水たまりなどです。特に、ドレン周りや立ち上がり部分、シートの重ね合わせ部分を入念に確認して欲しいですね。専門業者としては、安易な補修や不適切な材料・工法の選択は避け、施工前に問題点を確認し、追加の技術提案を行う必要があるかもしれません。

防水に関する現場作業で今後重要になると考えられる技術や方法、または期待される変化はなんですか。

滝澤 私は、今後の防水業界において重要になると考えているのは、省力化、効率化につながる技術や方法だと考えます。極端な話をすれば、老若男女問わず誰が施工しても

不具合が起きない防水技術が開発されれば良いと思います。業界内で熱く話したこともありました。

防水業界では、AIやロボット技術の導入に課題が多いかもしれません。なぜなら、防水技術は手仕事の部分が多い仕事だからです。ただし、作業支援ロボットやドローンによる点検技術の発達には業界全体が期待していると思います。また、ICTを活用した工程管理や品質管理、人員配置がより高度な施工を実現するためのカギになると考えているでしょう。個人的には、ドレンを自動で清掃してくれるロボットの開発を期待しています。

防水業界を目指す人々へメッセージをお願いします。

滝澤 育成は「勝手に育つ」という考え方もありますが、これは先輩の背中を見て育ち、学び、自分で考えてトライアンドエラーを繰り返すことが重要だと私は考えています。その中で、いろんな人と交流し技術の習得を目指すことで、匠が生まれます。業界内で現場の応援や職人の貸し



▲排水口清掃前(左)、排水口清掃後(右)

借りを通じて、他社や職人と協働し、新たな技術や知識を吸収することが増えていけば業界の発展につながると思います。

職人の世界では、技術継承がうまくいかなと言われることがよくあります。弊社は、熟練技術者が若年技術者へ技術を教えることで「仕事を奪われる」という意識ではなく、「技術を伝える」という文化が根付いています。

技術継承と人材育成について聞かせてください。

滝澤 建設業、そしてわれわれ防水業界は、人々の生活基盤を支える決してなくなることのない重要な産業です。AI技術がどれだけ進歩しても、最後の決め手となるのは人間の技術と経験です。若い世代には、この魅力ある業界にぜひ飛び込んできていただき、そして、ベテランの職人たち



▲屋上緑化

は培ってきた技術と知識を次世代へと繋いでいってほしいです。私たちは常に技術を磨き、より良い社会の実現に貢献していきます。

ありがとうございました。

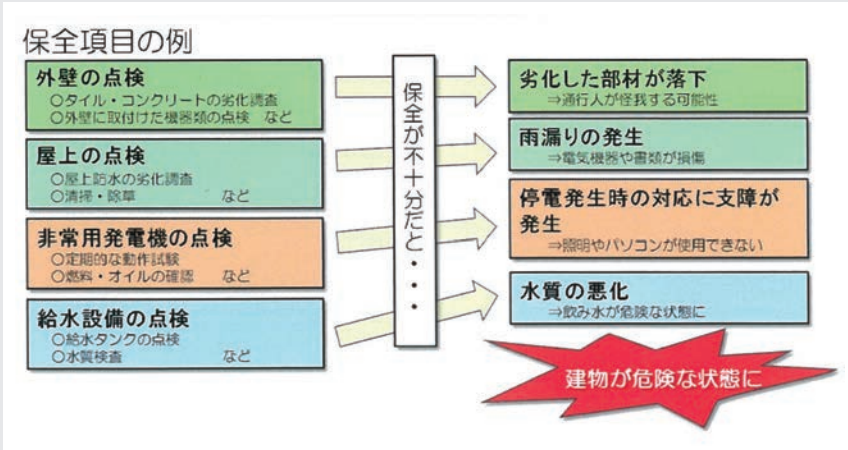


滝澤 護 (1971年6月27日生まれ) 53歳
東北学院大学 経済学部卒
出生地：宮城県仙台市青葉区
趣味：旧車および單車、釣り、ゴルフ、DIY、天体観測、サウナ等
学生時代に日新建工落合機材センターでアルバイトを経験した後、1999年1月4日に同社へ入社。東北支店工事に配属され、その約1年後に営業部へ異動。2010年11月より東北支店長に就任し、現在は東北支店に加え、札幌営業所および大阪営業所も担当している。



▲施工現場

漏水対策は「早めの保全」



▲保全の重要性

建物の機能を長期にわたり維持していくためには、適切な保全対策が不可欠です。安全性や衛生面、快適性といった観点から、関係法令や劣化状況に応じた的確な対応が求められています。中でも防水は、建物内部への漏水を防ぐという役割にとどまらず、構造体の劣化や仕上げ材の損傷、カビの発生といった二次的の被害を防ぐ上でも重要な技術です。

こうしたことから、国土交通省は、建築物の維持管理に関する各種指針や標準仕様書の中で、防水工事を含む保全の必要性を繰り返し強調

しています。特に公共建築改修工事標準仕様書では、屋上や屋内の防水について最新の材料や工法を反映しつつ、計画的な点検・改修の実施を求めており、漏水リスクの低減と建物の長寿命化を図る姿勢が示されています。

防水は、見えにくい部分の工事であるがゆえに後回しにされがちだが、建物全体の性能を支える基盤技術として位置付けられています。劣化が進行する前に適切な調査と対策を講じる「予防保全」の観点からも、防水の重要性を改めて認識することが大事です。

東北の防水工事産業の発展に寄与します

あたりまえの豊かさをささえる、あたりまえじゃない技術。

屋根で守り、床で支える。

TAJIMA

田島ルーフィング株式会社 仙台営業所 防水営業部 tel.022-261-3628
https://tajima.jp 床材営業部 tel.022-222-6413

三星産業株式会社

常務取締役東北支店長 相川 浩一

仙台市青葉区本町1-3-16
TEL.022-262-5201 FAX.022-264-3138

防水工事・一般電気設備工事

嶺電工業株式会社

代表取締役 嶺岸 義雄

〒981-3133 仙台市泉区泉中央2丁目10-13
TEL.022-375-8976 FAX.022-372-9361

防水から見える
“未来の形”

Cool Choice!

クリアスNEO工法

室内専用常温アスファルト防水

1液の常温改質アスファルトと改質アスファルトルーフィングを組み合わせ、常温アスファルト防水です。「E-1」「E-2」工法で技術審査証明を取得しております。

特定化学物質：ゼロ
有機溶剤：ゼロ
施工時CO₂排出量：ゼロ
施工時の臭い・煙：ゼロ

総合防水材料メーカー
日新工業株式会社

営業統括部 〒120-0025 東京都足立区千住東2-23-4
TEL：03-3882-2571 FAX：03-3881-8545
https://www.nissinkogyo.co.jp/

クリアスNEO 検索

各県団体トップに聞く

青森県防水工事業協会

会長 大久保 英樹

組織強化とスキルUPで魅力ある業種へ



2024年度の活動状況

2024年5月の総会の議決により会長に就任し、はや1年が経ちました。他団体の会議体への出席やあいさつ廻りと、改めて職責の重さを痛感している所です。

昨年度の当協会の活動として、技能検定・トライアルの実施・運営をはじめとした後進の育成・教育を主に行いました。また初の試みとして研修会を開催しました。講師に全防協の内田浩文専務理事をお招きし「防水工事における保証の考え方」と題した講演

をしていただき、参加会員からは「この先、責任の明確化が大事となってくる」等の感想があり、今後の営業展開へ生かせる有意義な勉強ができました。

また、第3次・担い手3法が24年度に改正されました。未来ある業界にしていくなために、大手ゼネコンはもとより中小・地場ゼネコンとの交渉は、働き手に不利になることがないように進めたいと思い、各方面に訴えていきたいと感じております。

本業界と他業界にはまだまだ色々な点で差を感じたり、人口減少・人手不足・後継者不足による建設業の廃業・事業停止が増加傾向の中ではありますが、地道に現有組織の強化や技能者のスキルUPに取り組み、魅力ある業種にしていきたいと思います。建設業全体のテーマとして真剣に考え真摯に取り組み、この先の時代をリードするような発展に繋がりたいです。

依然として地域経済は厳しい状況

下ではありますが今後、持続的成長を官・民あげて推し進め現状を打破していき、若者が「物づくり」に興味を持ちやりがいのある仕事場を形成していくことで地元全体の産業発展に繋がりたいと思います。

新時代へ突入した現在、未来を担う若者たちの発想や行動力に期待し、業界全体の地位向上と明るい社会の実現に向けて頑張りましょう！

岩手県防水工事業協同組合

理事長 三上 誠

企業経営にもメリットもたらす活動を展開



2024年度の活動状況

昨年度は当組合の活動の柱である技能者育成において、技能検定受験者への学科・技術講習会を実施し、受験予定者の技術習得・向上を図りました。また、県内建設各団体とともに行

う自治体への要望活動においては、入札制度問題や検定機会維持のほか、若手を雇用育成する中小・零細企業に対する具体的な経営支援を要望し、防水専門業者の企業経営にもメリットをもたらすための活動を展開しています。

今後の見通し

現場の最前線で汗をかく「防水施工技術者＝防水施工技能士」を認定する技能検定試験は、受験者数・受験機会ともに、年々その実施状況が先細りにあるように感じています。若年者の積極的な雇用と啓蒙により受験者数を増加させるとともに、県や職業能力開発協会には、検定機会の従来同様のレベルでの維持を働きかけていかなければなりません。

ればなりません。

若手技術者への期待とメッセージ

防水工事は夏の炎天下の中、冬の凍える低温の中、屋外で施工に当たることが大半である非常に厳しい職場です。しかし、技術を身につけ、自在に建物を風雪から守れるような施工ができるようになればなるほど、そのやりがいと喜びは大きく、非常に周囲からの

期待が高く、成し遂げた時の充実感も高い仕事です。若手の皆さんには途中で諦めることなく、途中で他へ目を向けることなく、ぜひ永く、力強く頑張ってください。

秋田県防水工事業組合

会長 開発 邦彦

建設業のイメージアップを目指して



2024年度の活動状況

昨年度は、働き方改革関連法による時間外労働の上限規制が適用となり、当業界にとっても大きな変革を求められた年となりました。

そのような状況下、当組合では技能士の育成を目的として技能検定トライ

アルおよび実技検定試験を実施しました。ほかに主な活動としては秋田県への需要活動を行っております。これは県庁と8つの地域振興局関係部門へ要望書を提出するものです。昨年度の要望は「屋上防水改修工事の発注時期について」と題し、防水業者向けに発注願える物件は、気候も良く

比較的閑散期となる第1四半期が週休二日制導入をする上で最も望ましい時期となることを要旨としたものです。さらに「新築工事における全天候型仮設屋根の設置について」と題し要望しました。近年の異常気象により夏期には連日猛暑、繁忙期でありながら日本海側特有の秋期の降雨から、冬期の降雪と防水専門工事業者には厳しい環境となっています。このような作業環境を打破するには、外部作業を行う全ての職種において夏期には直射日光を

遮り、降雨降雪をも防ぐことができ、結果工程も順守され、さらには建設業のイメージアップにも貢献できる全天候型仮設屋根の設置を盛り込んだ発注を求めたものです。なお、昨年のこの活動には組合員全員の参加を得て大変充実したものととなっております。

今後の見通し

天候に左右される当業界において、労働時間の短縮により出来高が低下

しているのに賃金は上昇しています。この状況をしっかり認識した上で効率化を図り価格計上ができなければ取り残されると考えます。

若手技術者への期待とメッセージ

若い人を支える環境はどんどん改善されています。安心・安全に、「この建物は俺の仕事で守るんだ」という誇りを持って励んで下さい。

宮城県防水工事業協会

代表 浅野目 孝之

今、思う事



2024年度の活動状況

今日もお天道様の下で働いている。暑い日は熱中症に怯えながら、寒い日は寒さに震えながら働いているだろう。来年もお天道様の下で同じように働いていることだろう。われわれは仕事が

あれば、晴れてさえいれば仕事ができる。ところが、最近は少し事情が違ってきた。働き方改革により週休二日の体制をとる現場が多くなってきたのだ。では、週間に6日働いて20,000円／日稼いでいた方々が、同じ収入を得るには1週間5日だと24,000円／日を稼が

ねばならない。その上、雨、強風、雪の日には仕事ができない。机上で決定した「働き方改革」は、天候に左右される現場を知らなすぎる。

近頃は、入札物件が減少してきた。その上、防水専門業の案件に異業種の方が応札するようになった。建設業法的には問題はないのだろうが、専門業の糧を奪っているのではないだろうか。落札した上で、防水専門業者に下請けに出せばよいと考えてはいないだ

ろうか。ひと頃は現場説明書に社員の「一級技能士」とあったがいつの間にか消えた。これでは技能士の減少と技術の衰退に繋がるのが必然であろう。

と言うのは老生が防水技能士の検定試験に2015年から携わっているからだ。検定試験は、決められた時間内に決められた実技試験架台を完成せねばならない。清掃、吸出し、養生、出隅・入隅、役物の処置と手順に従え

ば良いのだが、試験の重圧が何かが抜け落ちてしまう。手順の通りではなく親方から習った通りに我流が入り、早いと思っていた実技試験は終盤に失速する。制限時間には終了せずに失格。時間と努力とお金が消える。

若手技術者の方々ならびに見習いの方々は、基本に忠実であれ。それにはマニュアルを読んではいかがだろう、その上で実践するのが一番ではないか。

福島県総合防水工事業協同組合

代表理事 金澤 正夫

明日を担う「技能士」を育成



2024年度の活動状況

当組合は創立以来、防水工事保証および技術と信頼に基づく責任施工体制を柱として、厚生労働省の技能士資格取得等による技能向上に加え、材料提供メーカーとの連携により、多くの実績を築いております。

昨年度は、組合相互扶助の精神にもとづき、組合員利益のため共同購買や共同受注などの事業を積極的に推進したほか、福島県職業能力開発協会からの委嘱で技能検定を実施し、業界の明日を担う「技能士」の育成に積極的に関与しています。

今後の見通し

本年度についても、ウクライナ情勢やトランプ関税など不安定な世界情勢などに起因する資材価格の高騰が続くものと予想されますが、建物の老朽化に加え、近年頻発する線状降水帯や地震など自然災害により、今後も防水工事の市場は拡大していくことが予想されます。

持続可能な業界として発展していくためには、日進月歩の新工法への対

応や省力化によるコスト縮減が不可欠で、加えて環境への配慮も必要不可欠です。

若手技術者への期待とメッセージ

当組合が昨年度実施した技能検定では、新たに「改質アスファルトシート常温粘着工法」の職種作業を加えて実施し、前・後期合わせて新たに9職種49人の技能士が誕生しました。建設業の他業種の例に漏れず防水

工事業における技能者の高齢化が猛スピードで進行する現在、若い人材の育成が急務です。

建物やインフラのメンテナンス需要が高まり続けている防水工事業は、今後も成長していく魅力ある業界です。若手技術者の皆さんは、積極的に技能検定にチャレンジし、技術に優れた技能士として活躍されることを期待します。

株式会社 青建防水工業

代表取締役 木村 義知

本社 青森市大字新城字山田675番27号
電話(代表) 017-788-4343
FAX 017-788-4480
会社アドレス E-mail: aoken@k.purea-web.net
仙台営業所・八戸出張所・むつ出張所

総合防水工事・コンクリート構造物 補修補強

株式会社 昭栄工業

代表取締役 松山 昇榮

(本社) 青森県五所川原市大字湊字船越344-12
TEL.173-34-4309 FAX.0173-34-4316

(一社)全国防水工事業協会員
建築防水・躯体防食・床版防水

株式会社 テクニ中央

代表取締役 寺沢 学

青森県八戸市新井田字重地下51-12
TEL.0178-25-6789 FAX.0178-25-0405

総合防水工事業

株式会社 アンクス

代表取締役 熊谷 教史

盛岡市上田字松屋敷24-5
TEL.019-662-5354 FAX.019-662-7831
E-mail info@anks.co.jp

調査・診断から提案・計画・施工
総合防水工事

マルエス工業株式会社

代表取締役 岡田 利成

〒020-0846 盛岡市流通センター北1-10-11
TEL.019-639-0411 FAX.019-639-1137
https://www.maruesu.info/ E-mail:main@maruesu.info

東北の
防水工事産業の発展に
寄与します

有限会社 環清工業

代表取締役 伊藤 稔

秋田県湯沢市字祝田145-7
TEL.0183-72-0038 FAX.0183-73-3319
minoru@yutopia.or.jp

Total interior & Waterproof design

株式会社 東和

代表取締役 野口 久榮

〒010-0921 秋田市大町2丁目7番26号
TEL.018-864-4561代 FAX.018-864-4564

防水工事・外壁補修工事

北原建材工業株式会社

仙台営業所

所長 升本 茂樹

〒984-0015 仙台市若林区卸町一丁目5-8
TEL.022-236-6768 FAX.022-239-1082

日新商事株式会社

代表取締役 浅野目 孝之

本社／〒983-0833 仙台市宮城野区東仙台7-13-6
TEL.022(295)9895 FAX.022(295)9897
石巻出張所／〒986-0881 宮城県石巻市明神南10-1
TEL.0225(96)0421 FAX.0225(96)0484
URL https://www.nissin88.net/

トピックインタビュー

一般社団法人全国防水工事業協会東北支部



支部長
阿田 利成

2024年度の活動状況

昨年度は、働き方改革に関する具体的な取り組みが促進され、われわれの就労環境には劇的な変化がもたらされました。また、人件費や資材費の高騰や人材不足による工事原価の上昇は留まることを知らず、十分な受注価格への反映が見出せぬ現状はわれわれの経営を圧迫しています。私どもは、東北地方整備局との意

防水の「今」を固め、「未来」を拓く

見交換により現下の諸問題について議論を深めつつ、必要な経営課題について研修の場を設け、問題理解と対策構築に助力しました。また、次代を担う若手を対象とした研修会等により、業界を取り巻く今と未来の両面にわたる活動を深めた1年となっております。

今後の見通し

生産人口減少や物価高騰は止めることのできぬ時代の流れでもあり、われわ

れはこうした環境変化に対応し、新たな環境下においていかにして企業を健全に永らえ、高品質な防水を世に提供し続けるかという点に注力していかねばなりません。

われわれは、変化に対する理解と対応に向け情報提供・共有および、これに必要な研修を実施し、変化に即した今日の防水工事業のあるべき姿の実現に向けて、各種活動を展開してまいります。また、これに伴い浮上する課題点

については、関係省庁との意見交換・問題提起を通じ、最前線の実情をしっかりと行政へ届けながら、その改善に向けて要望活動を展開してまいります。

若手技術者への期待とメッセージ

防水工事は、単に「雨漏りを防ぐ、水漏れを防ぐ」だけのものではなく、凍害や塩害、コンクリート中性化等から躯体を保護するという使命を帯びています。研鑽の道程も長く、大半を占

める屋外環境下の施工は、たやすいものではない防水工事ではありますが、単にやるべき施工を行うだけではなく、自分たちが施工したものが社会資本の保全・長寿命化に繋がり、社会に貢献しているんだという誇りを胸に、高い志をもって仕事に向き合っていただくことを願っています。

常に高みを求め技術向上に励んでいただければ未来は明るいものとなると期待しております。

東西アスファルト事業協同組合東北支部



理事
野口 久榮

2024年度の活動状況

2024年は世界的な経済の不確実性が続く中、建設需要は回復基調を見せつつも、資材価格の高騰や労働力不足といった課題が顕著に表れた1年でした。そのような中、防水工事業に求められるものは、「雨漏りを防ぐ」という命題だけでなく、より広範かつ専門性の高いものとなっていると

技術革新と持続可能性への挑戦

感じます。

当組合はそのような中、技術研修や若手社員への研修、付加価値工法の普及啓蒙活動に注力し、持続可能な発展に向けた活動に取り組んでまいりました。特に昨年度は、当組合のフラッグシップである『プライムアス工法』と『FRAT仕上げ』を中心とした施工研修やPR活動に力を注ぎました。

今後の見通し

建築物のZEB化や長寿命化といった社会的要請により、建物の外皮を担う防水工事の役割はさらに重要性を増していくものと思われます。一方、働き方改革の達成のため、生産性の向上にも取り組んでいく必要があります。当組合はこれらの複雑化・高度化するニーズに応えるべく、新工法の

開発と技術の研鑽に努めてまいりました。社会が求める「良い仕事」を実現し、防水業界の魅力を高めて参ります。

若手技術者への期待とメッセージ

防水は建築物の寿命を左右する極めて重要な技術です。表には現れにくい仕事ですが、人々の安全と快適な暮らしを支えるという

誇りがあります。

技術は進化を続けていますが、「丁寧な仕事を積み重ねる」という姿勢は、今も昔も変わりません。

若手の皆さんには、失敗を恐れず現場で多くを学び、次代の担い手として、責任と誇りを胸に技術を磨いていただきたい。

防水の未来は、皆さんに託されています。

東北防水改修工事協同組合



理事長
田村 哲朗

2024年度の活動状況

2024年度は経済回復の兆しが見られた一方、建設業界では人手不足や資材高騰などの課題が続きました。こうした中、当組合は付加価値防水改修工法の普及啓蒙と組合員の結束強化に努め、防水セミナーや技能員

若手と築く技術革新と防水改修の役割

育成の教育事業を開催し、工法の普及や技術力向上を図りました。今後地域に根差した信頼ある防水改修工事を追求してまいります。

今後の見通し

24年度は世界的に政治・経済の不確実性が高まる1年となりました。国

内では超高齢化の進行や建設業界の人手不足が深刻化し、働き方改革、省エネ基準義務化など大きな変化が進んでいます。こうした中、今後は防水工事にも「省エネ・高耐久・環境対応」といった新たな視点が求められ、屋上空間の高度利用が鍵となってくると考えます。当組合では最新技術の習得と

普及、人材育成を通じて、新たな市場の対応と持続可能な成長を見据えた基盤づくりに注力してまいります。

若手技術者への期待とメッセージ

防水業界は、環境対応・省エネ化など新たな課題と可能性に満ちています。若い皆さんの柔軟な感性と意

欲が、業界を変える原動力です。技術だけでなく、発信力や創造力も大いに活かしてください。次代を担う存在として、自らの成長が業界の未来につながることを信じ、挑戦を続けていただければと思います。

日本アスファルト防水工業協同組合 関東支部東北地区



斎藤 祐治

2024年度の活動状況

防水業界においては、建設業界と同様に人手不足が深刻化していることに加え材料費の値上がりにより、工事費の高騰が続いております。この負担の増加をいかに工事費に転嫁していくのが喫緊の課題となっております。組合活動では、通常総会や各委員会もつつがなく開催することができたほ

か、日本アス・日新防水技術者養成校を開校し、研究部会連合会も京都で開催することができました。組合員各位のご支援とご協力により事業が円滑に遂行できましたことを改めて感謝を申し上げます。

技術力向上のための取り組み

日本アス仕様には、加熱溶融型改質アスファルト塗膜防水材料を採用し、

より耐久性の向上を実現させた「アスリード工法」と、露出改質アスファルト防水において意匠性を向上させた「アスファイン工法 熱工法」といった、今後主軸となる工法があります。これらの普及のため各支部において仕様説明会を開催しました。これまで以上に環境に配慮した工法や建物の長寿命化に対応した工法の啓蒙・普及を進めてまいります。また、昨年に続き日本

アス・日新防水技術者養成校を開校し人材育成には可能な限り取り組んでまいります。

今後の見通し

大都市圏の大型プロジェクト・大型半導体工場建設等の案件が動き始めていますが、人件費と資材高騰でコスト上昇に歯止めが掛からない状況です。人手不足、資材高騰が一層助長

されると考えられ、建設工事・改修工事ともに発注予定に齟齬（そご）が生じている物件が増えることが予想されます。防水業界においては新規就労者を確保することが難しい状況で、特にアスファルト防水に関しては、以前からの担い手不足が深刻化していることから、人材確保のための待遇改善と工法の見直しによる省力化が急務とされています。

東北シーリング工事業協同組合



理事長
高橋 真里

2024年度の活動状況

本組合は、資材の共同購買事業、教育情報事業（S-1GP開催等）、技能検定の実施、情報発信が主な活動内容になります。昨年度は、共同購買事業では前々年度の検定台の販売台数の売上増加から比べるとやや減少となりました。教育情報事業では、技能検定業務を行いました。こちらは年々、2級技能士の受講が減っています。原因は、若手入職者の減少が顕著に表れているかと考えます。外国人技能実習生による随時検定試験2級、3級では、コロナ後徐々に受

講者数が増加し、問い合わせがあれば随時実施しています。

S-1グランプリは、例年通り東北予選会を開催し、国土交通省より後援を受けての開催となりました。

本年度も、組合員、賛助会員のために今できることをさらに一つ一つ丁寧に取り組んでまいりたいと考えております。

今後の見通し

改修工事が新築工事に迫る勢いで増加しており戸建住宅は減少傾向。新築工事マンションなどは中心部で活発な動きを見せています。めまぐるしく社会情勢が変化する中ではありますが、

われわれの役割は専門的で先進的な防水技術の研さんを重ね社会インフラへを守ることで社会貢献に努めます。

今後、業界が良くなることを切に願います。

若手技術者への期待とメッセージ

防水業界の先輩として反省しなければならぬことがあります。われわれが、この仕事（職人）の魅力やキャリアパスを明確に業界、企業として打ち出せていないことではないかと考えます。

危険な工事現場の最前線で働き、夏は酷暑、身体のコブまで冷える冬。作業が比較的行いやすいのは春先と秋口でしょうか。雨や雪などの天候に

も左右されながらの毎日の作業。業界を支えてくれてありがとうございます。若手ベテラン関係なくいつも皆さんお疲れ様です。

その中で、法改正に後押しされながら少しずつではありますが、建設業を上げて賃金や待遇改善、労働環境の改善に取り組んでいます。

今後さらに、材料、道具は進化を続けるでしょうが、やはり技術の裏付けになるのは日々の積み重ねだと思います。私たちが身を置くこの仕事は、気軽にDIYなどで入りやすいシーリングという工事ですが、高品質な材料を使用し、設計図面の通りに収めることで初めて重要な防水機能が発揮され保証

が約束されると考えます。また、さまざまな被着体に対応できる知識や施工技術能力は、多種多様で複数の工事工程が前後する別職種間との打合わせなど、蓄積した経験を基にした現場調整能力が必須だと思われます。

今後は、常に知識と技術をアップデートし、常に新しい建物に挑む気概をもって自らの知識と施工技術能力の向上に励む技能士が求められていくと思われますし、こうした職人が増えてほしいです。

減少する若手技能者ではありませんが、この仕事を選んで続けてくれた人が将来この仕事を選んでよかったと思える業界にしたいです。



東西アスファルト事業協同組合

東西アスファルト事業協同組合ホームページ <https://www.tozai-as.or.jp/>

組合員

【青森】(株)青建防水工業 ☎0177-88-4343
【岩手】(株)アックス ☎019-662-5354
【秋田】(有)環清工業 ☎0183-72-0038
(株)東和 ☎018-864-4561
【山形】イトウ防水工業(株) ☎0238-23-8321
山建工業(株) ☎023-633-3003
【福島】田村建材(株) ☎0246-26-3121
福島防水(株) ☎024-963-1230
【宮城】東興アイテック(株)東北営業所 ☎022-287-3410

【宮城】東江防水(株) ☎022-285-1191
(有)東北ケミカル工業 ☎022-229-2887
中村瀝青工業(株)仙台営業所 ☎022-249-7021
三星産業(株)東北支店 ☎022-262-5201
嶺電工業(株) ☎022-375-8976

指定工事店

【岩手】北星建設(株) ☎019-637-5611
【宮城】(有)菅原防水工業 ☎022-358-4486

事務局

田島ルーフィング(株)仙台営業所

〒980-0021 宮城県仙台市青葉区中央1-6-35
TEL.022-261-3628 FAX.022-225-1567

<https://www.tajima.jp/>

防水改修工事のプロフェッショナル集団



東北防水改修工事協同組合

田島ルーフィング(株)仙台営業所

〒980-0021 仙台市青葉区中央1丁目6-35 東京建物仙台ビル6階 Tel.022-261-3628 Fax.022-225-1567
URL=<http://www.tohoku-bousui.com/> URL=<http://www.tajima.jp/>

東北防水改修工事協同組合会員

【青森県】
(株)青建防水工業 ☎0177-88-4343
(有)東興防水工業 ☎0178-41-2700
(株)大創工業 ☎0178-47-9710
(有)山谷防水 ☎0173-34-8780
【岩手県】
(有)荒谷工業 ☎019-688-5627
(株)アックス ☎019-662-5354
(有)奥羽工業(株) ☎019-624-6333
(有)奥友防水工業(株) ☎019-646-4019
北星建設(株) ☎019-637-5611
マルエス工業(株) ☎019-639-0411
【秋田県】
(有)環清工業 ☎0183-72-0038
(株)東北化工(有) ☎0186-29-2349
(株)東和 ☎018-864-4561

(有)森川防水工業 ☎0186-62-4186
【宮城県】
アサヒトラスト(株) ☎022-352-4701
(株)イガラシ工業 ☎022-281-9241
(株)エーツー ☎022-393-7066
(有)ケー・アイ工業 ☎022-386-2728
(有)菅原防水工業 ☎022-777-7668
(株)タカイ工業 ☎022-725-2907
(有)東興アイテック(株)東北営業所 ☎022-287-3410
(有)東江防水(株) ☎022-285-1191
トージョウリホーム(株) ☎022-287-2715
(有)東北ケミカル工業(株) ☎022-229-2887
中村瀝青工業(株)仙台営業所 ☎022-249-7021
(有)日新商事(株) ☎022-295-9895
(株)ベストハウス ☎022-382-2751
三星産業(株)東北支店 ☎022-262-5201

嶺電工業(株) ☎022-375-8976
(有)山田防水工業 ☎0224-54-1302
【山形県】
(有)イトウ防水工業(株) ☎0238-23-8321
(有)奥羽建築(株) ☎0235-24-2180
(有)山建工業(株) ☎023-633-3003
【福島県】
(株)GO A HEAD ☎0244-38-7472
(有)佐久間防水工業(株) ☎024-923-4229
(有)田村建材(株) ☎0246-26-3121
(有)坪井防水工業(株) ☎024-991-0507
(有)東新技術(株) ☎0243-48-1050
(有)日東物産(株) ☎024-546-2288
(有)福島防水(株) ☎024-963-1230
(有)山崎工業 ☎0246-29-1255

新防水工法／製品紹介

高耐久防水技術でカーボンニュートラル

驚異的な伸び性能の新アスファルト防水×超軽量FRAT仕上げで、屋上に保護コンクリートを打設することなく高耐久を実現。躯体に関わるCO₂排出量をさらに効果的に削減できます。

加熱型改質アス塗膜防水工法
プライムアス工法

Prime-AS

強力フラットフェース

コンクリート
打設量減
DOWN

超軽量高耐久仕上げ
FRAT
Fiber Reinforced Acrylic resin Treatment

UP
長期の
耐久性



東西アスファルト事業協同組合

<https://www.tozai-as.or.jp>

サーモコントロール断熱で カーボンニュートラル

直射日光を受ける屋上面から断熱・遮熱性能を効果的に付加できる外断熱工法。

断熱性能の良い建物は空調負荷が小さく、CO₂排出量の抑制に寄与します。

「断熱」

熱を伝えにくく
する機能

+

「遮熱」

光を反射して熱量を
軽減する機能

=

サーモ
コントロール
断熱

サーモコントロール断熱改修のメリット

断熱材が熱伝導を妨げ 高い省エネ効果

ふく射熱の発生を防ぎ高温による 防水層の劣化進行を抑制

温度変化によるコンクリートの伸縮を抑制し 建物の長寿命化に寄与

東北防水改修工事協同組合

<https://www.tohoku-bousui.com>

日本バンデックス㈱はコンクリート躯体処理工法のプロフェッショナルです。

Vandex

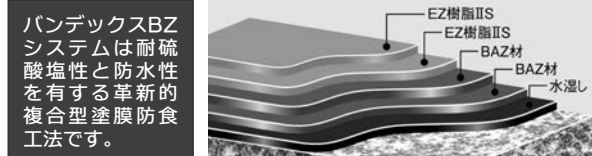
下水処理施設
防水・防食のエース!!



バンデックスBZシステム(無機質系耐酸防水防食材)

特長

- 無機質系及び無溶剤系の材料を使用する「環境にやさしい」工法です。
- 下地が濡っていても施工が可能であり、新設はもちろん補修・改修工事にもご採用いただけます。
- 塗布工程が少ないので工期の短縮が可能です。
- 有機酸対応のトップコートを使用するので、下水道施設のみならず、厨房排水槽等への施工も可能です。



日本バンデックス株式会社

■本社 〒168-0074 東京都杉並区上高井戸一丁目2番9号
TEL.03(6379)6581 FAX.03(6379)6541 <http://vandex.jp>

バンデックス防水工業会東北支部

南青建設防水工業 017(788)4343 南 煙 ケミカル 019(648)1675 田 村 建 材 024(26)3121
開 発 興 業 018(824)2233 北 京 建 材 工 業 有 限 公 司 022(236)7688 山 建 工 業 有 限 公 司 023(633)3003
南 秋 田 止 水 018(834)4020 中 外 建 工 業 有 限 公 司 022(375)9656 イ ト ウ 防 水 工 業 有 限 公 司 023(633)6321
奥 羽 工 業 有 限 公 司 019(624)6333 南 東 北 ケミカル工業 022(229)2887

東北シーリング工事業協同組合

理事長 高橋 真里
会員26社

(株) 旭 シーリング	TEL 0229(56)4401	(株) 藤 和 シール工業	TEL 022(290)5179
(株) エスシーリング	TEL 022(355)5744	(株) 三 國	TEL 018(884)6888
(株) イニテ工業所	TEL 022(383)3621	(有) 泉 工 業	TEL 019(651)4726
(株) ギ コ ウ	TEL 022(352)0440	(有) ク マ プ ロ	TEL 019(613)9122
(有) 東 北 テ ク ノ	TEL 022(348)6351	(有) コーク・シール工業	TEL 019(684)5311
(株) 日 昇 工 業	TEL 022(396)1531	(株) 小 山 商 店	TEL 019(646)9162
(株) 東 北 丸 本	TEL 022(371)9711	(有) 四 戸 防 水 工 業	TEL 019(688)1229
(株) S W C	TEL 022(349)5506	(有) 仁 和 シール工業	TEL 019(694)1212
桜 シーリング工業	TEL 0172(35)3750	(株) 日 建 美 装	TEL 023(679)2315
(有) シーリングタナカ	TEL 0176(57)1660	福 島 防 水 (株)	TEL 024(963)1230
(有) 環 清 工 業	TEL 0183(72)0038	(株) エ ム ケーシール	TEL 024(953)5230
(有) 田 口 シーリング	TEL 0187(56)3194	(株) 二 瓶 シール工業	TEL 024(943)3823
東 北 化 工 (株)	TEL 0186(29)2349	(株) タグキシール工業	TEL 024(546)5222

事務局 〒981-1232 宮城県名取市大手町5丁目12-5 大手町ビル2-B 電話 022(302)4728 FAX 022(302)4784
URL <https://toughoku-sealing.jp/> E-mail toughoku_sealing@yahoo.co.jp

アスファルト防水工法の 明日を創造します。

——私たちは確かな未来を見据えて、常に「地球にいいこと」を考え続けています——



NEW 加熱型改質アスファルト塗膜防水工法
アスリード工法

「アスリード工法」は、アスファルト防水工法の明日を率いる革新的な防水工法です。超耐久ルーフィング（アスリードーフ）を採用し、防水工事用アスファルトを高耐久・高伸長改質アスファルト塗膜防水材（アスリードコート）とすることで、「信頼性」「耐久性」を保持しつつ大幅な「施工省力化」を実現しました。

信頼性の高い熱工法

- 実績のあるアスファルト防水熱工法による信頼性。

施工省力化

- 単層保護仕様や立上り塗膜工法の採用。
- 端末はビス穴を開けることなく塗膜＋メッシュ納めが可能。



総合防水材料メーカー
日新工業株式会社 <https://www.nishinkogyo.co.jp/>
営業所 東京都千代田区千住 2-23-4 TEL: 03-3882-2571 FAX: 03-3881-8545



日本アスファルト防水工業協同組合 <https://www.nihon-as.or.jp/>
事務局 〒120-0025 東京都足立区千住 2-23-4 日新工業(株)内 TEL: 03-6806-2666 FAX: 03-6806-2667

・土木・建築防水・内外塗装・吹付工事
イトウ防水工業株式会社

代表取締役 伊藤 貴博

〒992-0038 山形県米沢市城南3丁目3番10号
TEL.0238-23-8321代 FAX.0238-24-4759
E-mail: bousui@ms3.omn.ne.jp



山形県知事許可(般-5)第701597号

株式会社 高輝工業

代表取締役 高橋 直幹

本 社 〒997-1321 山形県東田川郡三川町大字押切新田字五反98-1
TEL.0235-68-1816 FAX.0235-68-1817
庄 内 〒999-7781 山形県東田川郡庄内町余目字三人谷地212-4
TEL.0234-28-8006 FAX.0234-28-8007
仙 台 〒984-0037 宮城県仙台市若林区蒲町東9-2
TEL.022-357-0719 FAX.022-357-0818

改修(建築・土木)総合仕上工事業
建築工事/防水工事/防食工事/溶射工事
アスベスト処理工事/コンクリート補修工事

株式会社 ナカムラ
NAKAMURA
本 社 〒990-3122 山形県鶴岡市三丁目1-11 TEL.023-281-0800 FAX.023-281-0801
山 形 支 店 〒990-0071 山形県東山田郡庄内町余目字三人谷地212-4
TEL.0234-28-8006 FAX.0234-28-8007
東 京 支 店 〒113-0052 山形県仙台市青葉区大倉山2-28-28
TEL.03-6466-1917 FAX.03-6466-1907
仙台センター 〒997-0806 仙台市青葉区大倉山11-7 TEL.0235-28-3466 FAX.0235-28-3465

防水工事/外壁改修工事/耐火被覆工事/塗装吹付工事ほか

株式会社 日建美装

代表取締役 藤岡 真伍

〒999-3101 山形県上市市金瓶字北17-4
TEL.023-679-2315 FAX.023-679-2318

各種防水・塗装・左官

有限会社 備 研

代表取締役 石井 良行

〒999-7631 山形県鶴岡市八色字西野337-3
TEL.0235-64-5799 FAX.0235-64-5793
HP <https://bikentsu.wp-x.jp>



◆構造物の総合防水 塗装・改修工事
郡山シーリング株式会社

会 長 金澤 正夫
代表取締役 金澤 尚也

〒963-8071 福島県郡山市富久山町久保田字宮田100番地
TEL.024-953-4141 FAX.024-943-1322
E-Mail: info@k-sealing.co.jp



各種建築専門工事業

築くこと、すべてに感動品質を—
田村建材 株式会社

代表取締役 田村 哲朗

福島県いわき市内郷郷町金谷1番地の7 TEL.0246(26)3121代
支店/郡山 営業所/福島、白河、東京

安全安心を、超える挑戦。
福島防水

代表取締役 蜂谷 雅俊

〒963-0547 福島県郡山市喜久田町卸二丁目26番地1
TEL.024-963-1230 FAX.024-963-1239



有限会社 松本防水工業

代表取締役 松本 健一

〒963-4435 福島県田村市船引町大倉字上大倉115番地
TEL.0247-61-6866 FAX.0247-61-6876

東北の
防水工事産業の発展に
寄与します